

2005年9月20日

新幹線における地震時の運転規制判断指標の変更について

東北、上越、長野新幹線においては、2005年度中に運転規制の判断指標をガル値（最大加速度）からSI値（スペクトル強度）に変更する旨既にお知らせしておりましたが、2005年9月20日より順次変更し、運用いたします。

変更点は以下のとおりです。

○運転規制の判断指標の変更 【2005年9月20日より順次】

- ・地震動指標をガル値からSI値に変更します。
- ・線路構造物の被害をよりの確に予測し、安全を損なうことなく、有効な運転規制を行います。
 - ＊ 速度規制や運転中止回数が約3割程度削減される見込みです。
- ・9月末までに全地震計の切替を完了する予定です。

[運転規制基準値の現改表]

	現行	変更後
	最大加速度（ガル：cm/sec ² ）	SI値（カイ：cm/sec）
速度規制	80以上120未満	9以上18未満
運転中止	120以上	18以上

【SI値】従来の方法では反映できなかった加速度の作用時間や、構造物の固有周期を考慮して地震の影響を示すことのできる指標です。

単位は速度と同じ cm/sec=kine （加速度 cm/sec²=gal）